

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成25年7月25日 (2013.7.25)

【公表番号】特表2010-539361(P2010-539361A)
 【公表日】平成22年12月16日 (2010.12.16)
 【年通号数】公開・登録公報2010-050
 【出願番号】特願2010-525266(P2010-525266)
 【国際特許分類】

E 0 5 B 65/20 (2006.01)

B 6 0 R 25/01 (2013.01)

【F I】

E 0 5 B 65/20

B 6 0 R 25/00 6 0 5

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成25年5月30日 (2013.5.30)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

車両ロックであって、

当該車両ロックは、施錠エレメント、ラッチおよび戻り止め（1）ならびにロック機構（2）を備えており、該ロック機構（2）は、異なる機能状態「ロック作動」、「ロック解除」、「盗難防止」または「チャイルドロック作動」に調節されるようになっており、このために適切な機能位置に変位可能な少なくとも 1 つの機能エレメント（3）を備えている、車両ロックにおいて、

少なくとも 1 つの機能エレメント（3）は、弾性的に撓曲可能なワイヤまたはストリップとして形成されていて、かつ曲げ一機能エレメントとして異なる機能位置に弾性的に変位されるようになっており、曲げ一機能エレメント（3）は、車両ロックの旋回可能な少なくとも 2 つの調節エレメント（1，4，5）の間の切換可能な連結部を提供し、第 1 機能位置において調節エレメントと係合するか、または係合させることができ、調節エレメントを連結し、第 2 機能位置において、少なくとも 1 つの調節エレメントとの係合が解除され、調節エレメントを分離することを特徴とする、車両ロック。

【請求項 2】

曲げ一機能エレメント（3）は、大体において、該曲げ一機能エレメント（3）の少なくとも一部の長手延伸方向に対して垂直の幾何学的な曲げ軸線を中心に撓曲されるようになっており、請求項 1 記載の車両ロック。

【請求項 3】

曲げ一機能エレメント（3）は、少なくとも部分的に真っ直ぐに形成されていて、かつ／または、曲げ一機能エレメント（3）は、部分的に弾性的に撓曲され、残りの部分では固く形成されている、請求項 1 または 2 記載の車両ロック。

【請求項 4】

曲げ一機能エレメント（3）は、曲げビームとして形成されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の車両ロック。

【請求項 5】

曲げ一機能エレメント（3）は、車両ロックの 2 つの調節エレメント（1，4，5）の

間の切換可能な連結のための作動エレメントとして用いられるか、または、曲げ一機能エレメント（３）自体が、車両ロックの２つの調節エレメント（１，４，５）の間の切換可能な連結部を提供する、請求項１から４までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項６】

曲げ一機能エレメント（３）を介して伝達される力が、曲げ一機能エレメント（３）の延伸方向に対して横向きに作用する、請求項１から５までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項７】

曲げ一機能エレメント（３）は、１機能位置において、ロック機構（２）の調節エレメントをブロックするように、該調節エレメントに作用する、請求項１から６までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項８】

ロック機構（２）は、旋回可能な外側作動レバー（４）と、場合によっては旋回可能な内側作動レバー（５）とを備えており、ロック機構（２）は、少なくとも１つの曲げ一機能エレメント（３）を様々な機能位置に変位させることによって、対応する機能状態に調節されるようになっている、請求項１から７までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項９】

曲げ一機能エレメント（３）は、外側作動レバー（４）、場合によっては存在する内側作動レバー（５）および戻り止め（１）の旋回軸線のうちの一本に関して、概ね半径方向に方向付けされており、外側作動レバー（４）、場合によっては存在する内側作動レバー（５）および戻り止め（１）は、該旋回軸線を中心に旋回されるようになっている、請求項８記載の車両ロック。

【請求項１０】

戻り止め（１）または該戻り止め（１）と連結されたレバーが、戻り止め一連行輪郭（６）を備えており、外側作動レバー（４）または該外側作動レバー（４）と連結されたレバーが、外側作動一連行輪郭（７）を備えており、機能位置「ロック解除」に位置する曲げ一機能エレメント（３）では、外側作動レバー（４）は、外側作動一連行輪郭（７）と曲げ一機能エレメント（３）と戻り止め一連行輪郭（６）とを介して、戻り止め（１）と連結されており、機能状態「ロック作動」において、曲げ一機能エレメント（３）は、戻り止め一連行輪郭（６）および／または外側作動一連行輪郭（７）との係合を解除されており、外側作動レバー（４）は、戻り止め（１）から分離されている、請求項８または９記載の車両ロック。

【請求項１１】

内側作動レバー（５）または該内側作動レバー（５）と連結されたレバーが、内側作動一連行輪郭（８）を備えており、機能位置「ロック解除」に位置する曲げ一機能エレメント（３）では、内側作動レバー（５）は、内側作動一連行輪郭（８）と曲げ一機能エレメント（３）と戻り止め一連行輪郭（６）とを介して、戻り止め（１）と連結されており、機能状態「ロック作動」において、曲げ一機能エレメント（３）は、戻り止め一連行輪郭（６）および／または内側作動一連行輪郭（８）との係合を解除されており、内側作動レバー（５）は、戻り止め（１）から分離されている、請求項１０記載の車両ロック。

【請求項１２】

機能状態「ロック作動」に位置するロック機構（２）では、内側作動レバー（５）の作動によって、ロック機構（２）が機能状態「ロック解除」に移行し、内側作動レバー（５）の作動に関して、はじめに空走が設けられており、空走の終了時に、機能状態「ロック解除」へのロック機構（２）の移行が行われる、請求項８から１１までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項１３】

モータ式の制御駆動装置（１０）が設けられており、該制御装置（１０）に、少なくとも１つの曲げ一機能エレメント（３）が対応して配置されており、制御駆動装置（１０）によって、該制御装置（１０）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（３）が、少

なくとも1つの機能位置に変位されるようになっており、制御駆動装置（10）は、制御軸（11）を備えており、該制御軸（11）に、該制御軸（11）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（3）が支持されており、制御軸（11）の変位によって、曲げ一機能エレメント（3）が変位されるようになっており、制御軸（11）は、制御位置「ロック解除」および「ロック作動」に変位されるようになっており、制御軸（11）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（3）は、適切な機能位置に移行されるか、もしくは解放される、請求項1から12までのいずれか1項記載の車両ロック。

【請求項14】

制御軸（11）は、カム軸として形成されており、該制御軸（11）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（3）は、カム軸に支持されており、カム軸の変位によって適切に変位されるようになっており、または、制御軸（11）は、クランク軸として形成されており、該制御軸（11）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（3）は、クランク軸に支持され、制御軸（11）は、撓曲されたワイヤとして形成されており、制御軸（11）は、同時に駆動モータ（13）のモータ軸（14）を成している、請求項13記載の車両ロック。

【請求項15】

制御位置「ロック作動」および「盗難防止」への制御軸（11）の変位が、ブロック運転で行われ、制御軸（11）は、ブロック輪郭（11c）を備えており、該ブロック輪郭（11c）は、ブロックエレメント（17）と係合されるようになっており、ブロックエレメント（17）は、モータ式に変位されるように形成されていて、ブロック位置「ロック作動」および「盗難防止」に変位されるようになっており、制御軸（11）は、はじき出し輪郭（11d）を備えており、該はじき出し輪郭（11d）は、制御軸（11）を制御位置「盗難防止」から制御位置「ロック解除」へ手動で変位する際にブロックエレメント（17）と係合し、ブロックエレメント（17）をブロック位置「ロック作動」に移行させる、請求項13または請求項14記載の車両ロック。

【請求項16】

曲げ一機能エレメント（3）は、調節エレメント、戻り止め（1）、外側作動レバー（4）または内側作動レバー（5）と連結されており、曲げ一機能エレメント（3）は、調節エレメント（1；4；5）の予荷重を提供する、請求項1から15までのいずれか1項記載の車両ロック。

【請求項17】

ロック機構（2）は、並行して機能状態「チャイルドロック作動」に調節されるようになっており、機能状態「チャイルドロック作動」に調節することによって、機能位置「ロック解除」が自動的に機能位置「ロック解除ーチャイルドロック作動」に移行し、機能位置「ロック解除ーチャイルドロック作動」では、内側作動レバー（5）が、戻り止め（1）から分離され、外側作動レバー（4）が、戻り止め（1）と連結されており、機能位置「ロック解除ーチャイルドロック」は、機能位置「ロック解除」と機能位置「ロック作動」との間に位置する、請求項8から16までのいずれか1項記載の車両ロック。

【請求項18】

機能状態「チャイルドロック作動」を実現するために、制御駆動装置（10）は、変位可能なチャイルドロックエレメント（20）を備えており、該チャイルドロックエレメント（20）は、機能状態「チャイルドロック作動」で、曲げ一機能エレメント（3）を、制御位置「ロック解除」に制御軸（11）を変位させる際に、機能位置「ロック解除」に先行する機能位置「ロック解除ーチャイルドロック」で保持し、チャイルドロックエレメント（20）は、チャイルドロック軸として形成されており、チャイルドロック軸（20）は、制御軸（11）に向けられており、チャイルドロック軸（20）は、少なくとも部分的に、制御軸（11）に組み込まれており、チャイルドロック軸（20）は、少なくとも部分的に、制御軸（11）の凹部に配置されている、請求項17記載の車両ロック。

【請求項19】

ロック機構（2）の現行の機能状態を検出するための検出装置（25）が設けられてお

り、該検出装置（２５）によって、曲げ一機能エレメント（３）の変位が検出されるようになっている、請求項１から１８までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項２０】

制御駆動装置（１０）のモータ要素を収容するための電子素子支持体（３１）が設けられており、該電子素子支持体（３１）は、車両ロックに対して、機械駆動結合に必要な貫通孔を除く残りの部分で封入されており、ブロックエレメント（１７）およびブロック輪郭（１１ｃ）は、電子素子支持体（３１）の内側に配置されている、請求項１から１９までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項２１】

曲げ一機能エレメント（３）は、外側作動レバー（４）、場合によっては存在する内側作動レバー（５）および戻り止め（１）の旋回軸線のうちの一本に関して、概ね半径方向に方向付けされている、請求項８記載の車両ロック。

【請求項２２】

モータ式の制御駆動装置（１０）が設けられており、該制御装置（１０）に、少なくとも１つの曲げ一機能エレメント（３）が対応して配置されており、制御駆動装置（１０）によって、該制御装置（１０）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（３）が、少なくとも１つの機能位置に変位されるようになっており、制御駆動装置（１０）は、制御軸（１１）を備えており、該制御軸（１１）に、該制御軸（１１）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（３）が支持されており、制御軸（１１）の変位によって、曲げ一機能エレメント（３）が変位されるようになっている、請求項１から１２までのいずれか１項記載の車両ロック。

【請求項２３】

制御軸（１１）は、カム軸として形成されており、該制御軸（１１）に対応して配置された曲げ一機能エレメント（３）は、カム軸に支持されており、カム軸の変位によって適切に変位されるようになっている、請求項２２記載の車両ロック。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００６６

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００６６】

制御軸１１は、図８、図９に示した有利な形態では、付加的にははじき出し輪郭１１ｄを備えており、はじき出し輪郭１１ｄは、制御軸１１を手動で制御位置「盗難防止」（図９のｄ）から制御位置「ロック解除」（図９のａ）へ変位する際に、ブロックエレメント１７と係合して、ブロックエレメント１７をブロック位置「ロック作動」に移行する。このことはたとえば駆動モータ１８（盗難防止モータ）が故障して、手動のロック作動を、たとえば施錠シリンダを介して行う必要がある場合に有利である。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００８１

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００８１】

上述の口状成形部は追加的な利点を有している。口状成形部は、図８、図９に示した形態に関して説明したはじき出し輪郭１１ｄを提供し、はじき出し輪郭１１ｄは、制御軸１１を制御位置「盗難防止」（図１２）から制御位置「ロック解除」（図１０）に手動で変位する際に、ブロックエレメント１７をブロック位置「ロック作動」に移行させる。